

すうこうちゅう

崇広中だより TEAM SUKO 2025



No.03 2025. 6月号

発行者 崇広中学校長



とうきょうほうめん 東京方面へ！ 3年生 the 修学旅行

3年生が、6月4日から2泊3日で東京方面に修学旅行に行きました。「仲間のことを知り、絆を深めよう」を目標にともに過ごした「あのとき・あの場面」。感謝の気持ちを忘れず、3日間の「樂力」向上が、日々の生活にもつながっていきますように…。

主な行き先等

1日目…都内クラス別研修一両国江戸NOREN（店名：夕食）一東京スカイツリー
宿泊先 品川プリンスホテル

2日目…国会議事堂一東京ディズニーランドでのグループ活動（昼食・夕食）
宿泊先 東京ベイ舞浜ホテルファーストリゾート

3日目…第五福竜丸展示館一浅草寺・仲見世通り一葵丸進（店名：昼食）



裏面あり

ねんせい やま がくしゅう こうえん かい じぶん い 1年生山なみ学習講演会 「『自分らしく生きる』ってなんだろう？」



6月17日(火)に、多様な性のあり方にに関する講演をいただきました。講師の加納克典さんと嶋田全宏さんに、本校に来ていただくのは今回の講演で7年目になります。お二人は同性カップルを公的に認めめる伊賀市の「パートナーシップ制度」を利用して移住されました。自身の事を中心に、多様な性のあり方に関わる様々な課題や、経験してこられた事などを話してくださいました。また、伊賀市に移住された現在の生活や伊賀市の魅力についても

毎回お話しをいただいている。お二人は「『私たちのことを探りたい』と素朴に疑問に感じたことを出してくれることがうれしいんです」と、生徒が提出した質問にもていねいに答えていただきました。お二人の控え室を訪れて話し込む生徒たちの姿もありました。

伊賀市では、すべての中学校で「多様な性のあり方にに関する学習」を行っています。すべての人権課題に共通して言える事は、「差別はする人がいるから起こる。しかし、差別をしている側には差別をして誰かを困らせている自覚がない人がいる」ということです。このことを解決していくためには、正しい知識をもち、自分の間違いを正し、行動に結びつけていくが必要です。実は、この学びが日々の生活（人間関係づくり）にきっといかしていけるはずです。

ねんせい やま がくしゅう こうえん かい こま たす 2年生山なみ学習講演会 「困らないよう、助けてくれたから…」

本校には外国につながりのある生徒が約11%在籍しています。国も様々でポルトガル語やスペイン語をはじめ、英語、タガログ語、アラビア語、タイ語などを話せる生徒が在籍しています。山なみ学習では、「多文化共生社会をめざして～私たちにできること～」について考え続けています。

6月19日(木)、講師として伊賀日本語の会代表の菊山順子さんにお越しいただきました。三重県や伊賀市の方の現状や、菊山さんご自身の経験をお話いただきました。後半には、外国につながりのある本校生徒が前に出て、菊山さんと対話を交えました。「漢字難しいけど、やさしい日本語で話してくれた」「困らないよう、みんなが助けてくれたから」等マイクで発信すると、菊山さんから2年生みんなに「前に出てきた勇気も素晴らしい。みんなが聞いてくれると思ったから前に出てくれた。みんなが普段から助け合えることが素晴らしい」と励ましの言葉も。これからも幸せに暮らしたいと願う人をサポートし合える世の中を創っていくため、学びを進めていきます。



きまつ 期末テストをふりかえる⇒次の「サイクル」につなげる！

期末テストに向けて、学習計画は思いどおりに進めることができましたか。何事においても「計画、実行、達成」のサイクルはとっても大切で、その成功体験によって、実感として身につくことが多いです。もちろん自分なりのペースもあるはず。このサイクル、定期テストだけでなく、部活動・大会に向けてや入試など、目標達成に向けて取り組む際、意識ていきましょう！間近となる夏休みの「チャレンジ」をふまえて…。



6/23付で伊賀市教育委員会「学校教育活動等における熱中症事故防止に向けた対応について」を配付させていただきました。日頃のお声かけ等ご協力よろしくお願ひします。